

4年ぶりのふれあい福社会議

2月18日(日)午前10時から亀山集会所にて、亀山地区社会福祉協議会の代議員以上の役員(概ね60歳以上)63名が出席。

安佐北区社会福祉協議会 事務局長 若佐健司氏の「ひろしまLMO」の説明。安佐医師会病院 病院長 土手慶五氏を講師に開催(講演抜粋)。



広島型地域運営組織 「ひろしまLMO(エルモ)」

安佐北区社会福祉協議会

事務局長 若佐健司氏

Local Management Organization

地域活動を支えるために、広島市は独自の組織「ひろしまエルモ」を立ちあげた。

(どこで) 概ね小学校区を活動範囲とした地域を代表する組織としている。

(だれが) 地区社会福祉協議会や連合町内会・自治会等が中心となって、地域団体やNPO、企業など多様な主体と連携しながらすすめる。

(諸団体を縦割り組織⇒横ぐし組織へ)

(なにを) 地域の情報・将来像を共有し、全ての住民を対象として、地域課題の解決に向けた様々な活動等に取り組む組織。

「かめやままちづくり協議会」スタート

市はこの取り組みに賛同する組織を募集。「かめやままちづくり協議会」も応募し令和5年11月28日認定された。

市からの助成金は、事務局員雇用300万円、場所代200万円、事業費100万円 計600万円(上限として)

まちづくり四日市役場が拠点
〒731-0231 安佐北区亀山3丁目14-20
(フレスタ可部店となり)
TEL 082-815-8110
Eメール office@kameyama-tp.net

(目標)

- ① 子ども・高齢者・障害者の見守り
- ② 災害時の避難や日頃の防災
- ③ 地域行事の活性化…コロナ禍後の行事再開と住民の各種行事への参加促進
- ④ 役員の高齢化、担い手の育成

(令和5年度の取り組み)

- ① 気軽に立ち寄れて、様々な作業や事務が可能な事務所の整備と、専任事務職員の雇用
- ② ホームページの作成
- ③ 安全安心なまちづくりの推進
→学区内の各地区からの避難ルート等を明確にした防災・避難マップの作成
→統一ジャンパーの作成(地域で一体感を持ち防災のみならず防犯・見守り活動に活用)

お困りのことがあれば、どなたでもお気軽に『まちづくり四日市役場』までご連絡ください



「医療はまちづくり、新たな視点で 可部の明るい未来を創る」

安佐医師会病院

病院長 土手慶五氏

○「健康とは」自分で以下のことができること

・トイレに行く・入浴する・食事をする、食事を作る・買い物に行く・ゴミを捨てる・美容院に行く、歯を磨く・旅行に行く、バスに乗る、

新幹線に乗る・お金をおろす（通帳の管理）
※病気のある無しではない。生活を守る＝健康を守るにはどうしたらいいのかが問題。

※日本人の**健康寿命**（生活動作が自立し、健康で過ごせる期間）75歳で世界一（2019年）
1位 日本 74.1歳 2位 シンガポール 73.6歳
3位 韓国 73.1歳 …… 41位 中国 68.5歳
68位 アメリカ 66.1歳 97位 ロシア 64.2歳

○入院

紹介状を持って病院に行くと、いきなり入院の話が、ジェットコースターのように始まる。最近では医者に全て告知され、患者自身で答えを出して決めなくてはならない（自己決定）…ただ現実問題として、頭が真っ白になり、何を聞いたのか分からない人が多い。←ひとりではなく誰かに付き添ってもらうほうがいい。（入院期間…安佐市民病院 8日 安佐医師会病院 60日）



○退院

すぐに家に帰れる人は3割

あとは①買い物・掃除・弁当・リフォームが必要！少し手伝って欲しい ②リハビリをして家に帰る、もしくは転院する ③利用している施設でのサービスを受ける（ケアマネジャー 訪問看護 かかりつけ医）

退院後の目標は「住慣れた地域で自分らしいくらしをして、人生を最後まで送ること」

○退院後の生活は誰に相談したらいいか

それは**医療ソーシャルワーカー**（社会福祉士）
福祉サービスや制度などを活用しながら、患者や家族の抱える問題を解決する。地域とのネットワークもあり（地域へつないでくれる）、患者への情報発信も行う。
患者を地域に帰すことが主目的。

治療だけでなく**地域で過ごす為の支援が必要**。
地域包括ケア無くして、**最高度急性期医療はなり立たない**。

○・食事（配食）豊平ではマザーズにより地域の味を活かしてつくっている

・通院の手段

・家に人をこもらせず外に連れ出す

退院後のこれらの必要事項は、LMOのやるべきことなのではなからうか

○介護保険ではなく自立保険

住み慣れた地域で自分らしく過ごすことを守る為だから、「自立保険制度」といえる。
要介護度は病名ではなく必要な介護の手間（時間）で決まる。

○終活は必要か？

昨今終活の著書も沢山出ているが、それよりも「どのような病気で、病院では何が起こるか、どんな治療か、どんな人々の支援を受けて、どのように元の家に帰っていくか」というようなことを、終活する以前に予習して知っておくことが必要なのではなからうか。

○老衰とは？

身体機能の衰弱・体、内臓、筋肉、骨、血管
・心臓、肺、肝臓、腎臓、胃腸、脳、目、耳
・筋力が落ちる、骨がもろい・階段が登れない
・トイレまで歩けない・頻尿・口角がさがる
・むせる

老衰は医師でなく自分で決めることができる。

(2022年) 死因が老衰の人

60歳代-313人 70歳代-5,938人

80歳代-50,573人 90歳代-104,492人

100歳以上-18,210人

○薬

- ・溺れる薬 (たばこ 酒 淫らなこと 麻薬
アヘン 仕事 生き甲斐)
- ・念仏
- ・医師の薬…自分によく効く薬名を覚えておく
- ・社会的処方…地域のつながりで元気にする

○そもそも急ぐ病気とは？

心筋梗塞…急激な痛み なま汗

脳卒中…体の片方に力が入らない 言葉がうまく出ない よだれ

これらは出来るだけ早い治療が必要 救急車到着から60分以内にカテーテル治療がはじまる

○北部医療センター安佐市民病院の現在の職員は1,200人。その75%が女性である。まず女性にとって働きやすい体制や環境を整えなくてはならない。

○煩惱を断ぜずして涅槃(ねはん)を得るなり

(親鸞 正信偈) ←煩惱は煩惱のままで生きる。煩惱があつてこそ生きられる。

死をにくまば生を愛すべし

(吉田兼好 徒然草)

死についてあれこれ考えるより、生きていることを幸せに思い楽しんだほうがいい。

※先人の残している言葉を深く味わい人生の参考にしてみよう。

新しい服、新しい靴を買って、美容院に行きましょう！そして、恋してください。旅行に行きましょう。助けてくれと相談してみましよう。なりふりかまわず生き切りましよう。お金があればいつ使う、今です。 ←と、話をしめられました。

安佐医師会病院主催

よろず相談室の案内

無料で相談！ 食事や運動に関するアドバイス / 体の不調について / 病気の予防について / ストレスや睡眠の悩み / 物忘れ など、ご本人はもちろん、ご家族についても、土手病院長はじめ当院の医師が相談を受け付けます！必ずお薬手帳をご持参ください。

◆4月からの開催日程

毎週水曜日の 13:00 ~ 15:00 開催

◆申し込み方法

TEL: 082-555-2700

(受付: 月曜日~金曜日 9:00 ~ 17:30)

随時受け付けています)

◆場所

安佐医師会病院 2F コミュニティセンター
(正面玄関からお入りいただき、受付カウンターまでお越しください。)

◆医師の紹介

○病院長 土手慶五 (今回ご講演頂いた大変ユニーク?な先生です)

診療科: 内科 (心臓、脳神経、糖尿病、呼吸器など)

資格等: 元北部医療センター安佐市民病院病院長、循環器専門医、認知症サポート医

○副院長 向田秀則

診療科: 緩和ケア内科 (ガンに関する全ての相談)

資格等: 元北部医療センター安佐市民病院副院長、外科専門医、呼吸器外科専門医、消化器外科専門医

このほか、当院の医師が対応します。

*安佐医師会病院は、内科外来を行っており、予約や紹介状なしで外来受診が可能です。また、安佐医師会病院では元気じゃけん検診なども行っています。

事業報告

令和5年10月1日
～令和6年2月29日

◇亀山学区献血実施

＝令和5年10月14日(土)アルゾ可部店
受付者数73名 採血者数66名



(献血車内)

◇ふたりくらしの集い

＝同10月23日(月)亀山公民館
参加者62名
演題 「笑いは長寿の国へのパスポート」
講師 秋風亭てい朝

◇ひとりくらしの日帰りバス旅行

＝同11月6日(月)参加者38名
島根県むいかいち温泉「ゆ・ら・ら」

◇金亀の里 亀山地域まつりのバザー

＝同11月12日(日)亀山公民館
亀山福祉バザー出店 収益金42,142円



◇在宅要介護者、介護者への配食

＝同12月10日(日)配食対象者53名

◇赤い羽根共同募金

＝同12月末で930,060円

◇ふれあい福祉会議 講演と懇親会

＝令和6年2月18日(日)亀山集会所

参加者 講演会63名(懇親会33名)

講座 広島型地域運営組織

「ひろしまLMO(エルモ)」

講師 安佐北区社会福祉協議会

事務局長 若佐健司氏

講演 「医療はまちづくり、新たな視点で

可部の明るい未来を創る」

講師 安佐医師会病院

病院長 土手慶五氏

(1～3面に講演抜粋)



(懇親会 33名参加)

◇広報紙「かめやま」128号

＝同3月31日発行

地域福祉事業にご寄付

亀山社協に令和5年10月1日から令和6年2月29日までの間、次の皆様から貴重なご寄付を頂きました。

謹んでお礼申し上げます。

◎香典返し

上大毛寺 泉田秋子様(夫・一徳様)

下行森 向井剛様(父・幸三様)

お願い

香典、お見舞い、お祝いのお返し等を亀山地区社協へご寄付の程お願い申し上げます。

窓口は自治会長、町内会長、民生委員、社協役員です。